

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校国語

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少ない。
平均正答率(泉佐野市 69.5/大阪府 71.3/全国 72.9)

「B区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層が少なく、下位層がやや多く分布している。
平均正答率(泉佐野市 52.4/大阪府 55.4/全国 57.8)

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

| 国語A | 課題等がみられた設問 |
|---|---|
| <p>【読むこと】</p> <p>○目的に応じて、図と表とを関係付けて読むことは概ねできている。</p> <p>5 公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する (90.0/93.1)</p> <p>○登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えることに課題がある。</p> <p>6 『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する (58.6/63.9)</p> | <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと・書くことは出題された漢字によって正答率に差がある。</p> <p>1ー2 お年玉を貯金する（→ちよきん） (99.3/98.5)</p> <p>1ニ1 アサガオのたねをまく（→種） (83.7/87.5)</p> <p>○ひらがなで表記されたものをローマ字で書くことに課題がある。</p> <p>8__2 ローマ字を書く（あさって）（→asatte） (35.9/41.8)</p> |

| 国語B | 課題等がみられた設問 |
|--|--|
| <p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○目的に応じて、質問したいことを整理することに課題がある。</p> <p>1ー スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する (45.6/51.8)</p> <p>○質問の意図を捉えることに課題がある。</p> <p>1ニ スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する (46.0/51.1)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問することに課題がある。</p> <p>1三 スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く (40.2/50.4)</p> | <p>【読むこと】</p> <p>○目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことに課題がある。</p> <p>3ー 「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する (70.9/77.2)</p> <p>○目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することに課題がある。</p> <p>3ニ 「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する (71.0/77.9)</p> |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 泉佐野市 | 全国 (大阪府) | 10%○ 5%◇ | 差 |
|---|------|----------------|-------------|------|
| 国語の勉強は好きですか | 53.4 | 58.3 (54.7) | | 4.9 |
| 国語の勉強は大切だと思いますか | 91.3 | 91.3 (89.2) | | 0.0 |
| 国語の授業の内容はよく分かりますか | 78.4 | 80.7 (78.9) | | 2.3 |
| 読書は好きですか | 65.8 | 74.6 (71.0) | ◇ | 8.8 |
| 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 86.6 | 89.2 (86.6) | | 2.6 |
| 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか | 52.1 | 67.0 (60.5) | ○ | 14.9 |
| 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか | 54.6 | 62.3 (57.1) | ◇ | 7.7 |
| 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか | 67.9 | 74.0 (69.5) | ◇ | 6.1 |
| 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか | 73.4 | 78.1 (75.1) | | 4.7 |
| 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合) | 67.1 | 75.1 (72.3) | ◇ | 8.0 |

- 「国語の勉強は大切だ」と感じている児童の割合が昨年度と比べて少し増加し、高い割合であることは評価できる。(H27 90.1)
- 「読書は好きだ」と感じている児童の割合が昨年度と比べて少し増加しているが、全国と比べて低いことは課題である。(H27 64.2)
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている児童の割合が昨年度と比べて少し増加し、高い割合であることは評価できる。(H27 84.7)
- 「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」児童の割合が昨年度と比べて減少し、全国との差も広がったことは課題である。(H27 55.1)
- 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」児童の割合が昨年度と比べて少し増加しているが、全国と比べて低いことは課題である。(H27 53.7)
- 「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている」児童の割合が全国と比べて低いことは課題である。(H27 67.4)
- 「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題において、最後まで解答を書こうと努力した」児童の割合が昨年度と比べて減少し、国語Bの最終問題（記述式）の無答率は17.1%と高く、全国の11.5%と比べて差が大きいことは課題である。(H27 72.8)

設問別調査結果 [国語A：主として知識]
 泉佐野市教育委員会－児童

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域等 | | | 評価の観点 | | | 問題形式 | | | 正答率(%) | | | 無解答率(%) | | |
|------|---|------------------------------|------------|--------------------|----------------------|---------|------|------|-----------------|-----|------|--------|--------|---------|---------|--------|---------|
| | | | 話すこと・書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) | 全国(公立) | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) |
| 1-1 | 漢字を読む (今日は全国的に技達だ) | 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む | | 5-6 (1)ウ (7) | | | | ○ | ○ | | 78.1 | 78.5 | 79.3 | 5.9 | 5.2 | 5.2 | |
| 1-2 | 漢字を読む (お年玉を貯金する) | | | 5-6 (1)ウ (7) | | | | ○ | ○ | | 99.3 | 98.3 | 98.5 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | |
| 1-3 | 漢字を読む (むだを直くようにする) | | | 5-6 (1)ウ (7) | | | | ○ | ○ | | 76.1 | 81.0 | 81.0 | 6.8 | 4.9 | 5.0 | |
| 1ニ1 | 漢字を書く (アサガオのたねをまく) | 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く | | 5-6 (1)ウ (7) | | | | ○ | ○ | | 83.7 | 86.5 | 87.5 | 5.0 | 4.5 | 4.5 | |
| 1ニ2 | 漢字を書く (したい友人と出かける) | | | 5-6 (1)ウ (7) | | | | ○ | ○ | | 71.2 | 74.1 | 73.8 | 12.0 | 9.7 | 10.4 | |
| 1ニ3 | 漢字を書く (先生にそうだんする) | | | 5-6 (1)ウ (7) | | | | ○ | ○ | | 61.4 | 58.9 | 64.2 | 4.5 | 4.9 | 5.0 | |
| 2 | 全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話し合っているのか、話し合いの説明として適切なものを選択する | 目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う | 5-6 ア | | | | ○ | | ○ | | 75.3 | 77.3 | 79.2 | 0.5 | 0.3 | 0.2 | |
| 3 | ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する | 書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する | 5-6 カ | | | | ○ | | ○ | | 64.3 | 65.9 | 67.4 | 0.5 | 0.3 | 0.2 | |
| 4 | 委員会を紹介するパンフレットを作るため、追加の取材をした理由として適切なものを選択する | 目的や意図に応じて、書く事柄を整理する | 5-6 ア | | | | ○ | | ○ | | 74.2 | 74.4 | 78.2 | 0.9 | 0.4 | 0.3 | |
| 5 | 公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する | 目的に応じて、図と表とを関係付けて読む | 5-6 ウ | | | | ○ | | ○ | | 90.0 | 92.3 | 93.1 | 0.7 | 0.4 | 0.3 | |
| 6 | 『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する | 登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える | | 3-4 ウ | | | | ○ | ○ | | 58.6 | 62.3 | 63.9 | 3.0 | 1.7 | 1.4 | |
| 7アイ | 毛筆で書いた(一)と(二)を書き直した際、注意した点として適切なものを選択する(永久) | 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める | | 5-6 (2)ア | | | | ○ | ○ | | 76.8 | 77.7 | 81.2 | 1.7 | 1.3 | 0.9 | |
| 8-1 | ローマ字を書く (りんご) | ローマ字で表記されたものを正しく読む | | 3-4 (1)ウ (7) | | | | ○ | ○ | | 50.0 | 51.8 | 53.2 | 15.5 | 12.1 | 11.9 | |
| 8-2 | ローマ字を書く (あさって) | | | 3-4 (1)ウ (7) | | | | ○ | ○ | | 35.9 | 39.9 | 41.8 | 17.0 | 14.3 | 13.7 | |
| 8-3 | ローマ字を読む (h y a k u) | | | 3-4 (1)ウ (7) | | | | ○ | ○ | | 47.3 | 50.2 | 50.7 | 24.8 | 20.3 | 20.0 | |

設問別調査結果 [国語B：主として活用]

泉佐野市教育委員会 児童

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域等 | | | 評価の観点 | | | 問題形式 | | | 正答率(%) | | | 無解答率(%) | | | |
|-------|---|------------------------------------|------------|------|------|--------------|---------|------|------|-----------------|-----|--------|------|--------|---------|--------|--------|---------|
| | | | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 国語への関心・意欲・態度 | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) | 全国(公立) | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) |
| 1一 | スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する | 目的に応じて、質問したいことを整理する | 5-6エ | | | | | | | | | | 45.6 | 48.0 | 51.8 | 1.2 | 0.4 | 0.3 |
| 1二 | スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する | 質問の意図を捉える | 5-6エ | | | | | | | | | | 46.0 | 48.2 | 51.1 | 1.4 | 0.6 | 0.5 |
| 1三 | スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く | 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する | 5-6エ | 5-6ウ | | | | | | | | | 40.2 | 47.0 | 50.4 | 13.1 | 9.0 | 7.8 |
| 2一 | 「早ね早起き」活動の成果について、〈図1〉の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する | グラフを基に、分かったことを的確に書く | 5-6エ | | | | | | | | | | 40.1 | 43.5 | 43.4 | 3.0 | 1.5 | 1.2 |
| 2二(1) | 「早ね早起き」活動の課題について、〈図2〉の結果を基に書く | 目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く | 5-6エ | | | | | | | | | | 46.5 | 49.2 | 51.4 | 10.5 | 8.6 | 6.7 |
| 2二(2) | 「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、〈表2〉の結果を基に書く | 目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く | 5-6エ | | | | | | | | | | 60.5 | 60.9 | 64.2 | 11.7 | 9.4 | 7.7 |
| 2三 | 「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する | 活動報告文において、課題を取り上げた効果捉える | 5-6イ | | | | | | | | | | 54.7 | 56.9 | 58.3 | 5.8 | 5.0 | 4.2 |
| 3一 | 「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する | 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む | 5-6カ | | | | | | | | | | 70.9 | 74.8 | 77.2 | 4.7 | 3.7 | 2.9 |
| 3二 | 「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する | 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する | 5-6イ | | | | | | | | | | 71.0 | 75.5 | 77.9 | 4.9 | 4.2 | 3.4 |
| 3三 | 「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く | 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしなが読む | 5-6ウ | 5-6ウ | | | | | | | | | 48.1 | 49.9 | 52.9 | 17.1 | 13.5 | 11.5 |

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校算数

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率(泉佐野市 75.0 / 大阪府 76.9 / 全国 77.6)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国に比べるとやや下位層に偏りがある。

平均正答率(泉佐野市 44.0 / 大阪府 45.8 / 全国 47.2)

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率 / 全国正答率）

| 算数A | 課題等がみられた設問 |
|---|--|
| <p>【数と計算】</p> <p>○除法における計算の確かめの方法について概ね理解している。</p> <p>1 (3) 小数の除法の結果を、乗法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く (87.1/87.9)</p> <p>○繰り下がりのある減法の計算をすることは、概ねできている。</p> <p>2 (1) $905 - 8$ を計算する (90.1/90.9)</p> <p>○乗法が整数である場合の分数の乗法を計算し、約分することは、概ねできている。</p> <p>2 (4) $(2/9) \times 3$ を計算する (84.5/87.0)</p> <p>○不等号について概ね理解できている。</p> <p>3 (1) 二つの数の大小関係を表す不等号を書く (96.5/96.7)</p> <p>○示された場面を適切な読み取り、全体の人数を求める式に表すことに課題がある。</p> <p>9 (1) 前に10人、後ろに19人並んでいることを基に、列に並んでいる全体の人数を求める式と答えを書く (74.5/80.2)</p> | <p>【量と測定】</p> <p>○三角形の底辺と高さの関係について概ね理解できている。</p> <p>5 三角形の底辺に対応する高さを選ぶ (83.2/82.0)</p> <p>【図形】</p> <p>○図形の構成要素に着目して、図形を構成することに課題がある。</p> <p>6 4枚の三角定規でつくることができる形を選ぶ (74.1/79.6)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解することに課題がある。</p> <p>9 (2) 定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く (45.8/50.9)</p> |

| 算数B | 課題等がみられた設問 |
|---|---|
| <p>【数と計算】</p> <p>○示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを調べることは概ねできている。</p> <p>1 (1) 1辺が9 cmの正方形の縦と横の長さを変えたときの面積を求める式と答えとして、ふさわしい数値の組み合わせを書く (90.2/92.6)</p> <p>○示された式の中の数値の意味を理解し、それを記述することに課題がある。</p> <p>2 (3) 目標のタイムを求める式の中の0.4や0.3が表す意味を書く (10.4/15.6)</p> <p>○縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を記述することに課題がある。</p> <p>3 (2) 縦39 cm、横54 cmの長方形の厚紙から、1辺9 cmの正方形を24個切り取ることができるわけを書く (35.2/38.4)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述することに課題がある。</p> <p>1 (2) 正方形の縦の長さを2 cm短くし、横の長さを2 cm長くすると面積が4 cm²小さくなることの説明を書く (37.6/45.2)</p> | <p>【図形】</p> <p>○示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述することに課題がある。</p> <p>5 (1) 示された形をつくることができることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書く (4.9/6.9)</p> <p>○図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することに課題がある。</p> <p>5 (2) 示された四角形を並べてできる図形を選ぶ (26.5/25.4)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述することに課題がある。</p> <p>4 (3) A小学校とB小学校の図書委員会が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く (21.7/24.9)</p> |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 泉佐野市 | 全国 (大阪府) | 10%○ 5%◇ | 差 |
|--|------|----------------|-------------|-----|
| 算数の勉強は好きですか | 66.5 | 66.0 (64.4) | | 0.5 |
| 算数の勉強は大切だと思いますか | 91.6 | 91.9 (90.5) | | 0.3 |
| 算数の授業の内容はよく分かりますか | 79.7 | 80.2 (79.7) | | 0.5 |
| 算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか | 76.4 | 75.8 (73.9) | | 0.6 |
| 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか | 80.3 | 81.0 (78.9) | | 0.7 |
| 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか | 60.5 | 67.4 (62.2) | ◇ | 6.9 |
| 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか | 88.4 | 89.9 (88.0) | | 1.5 |
| 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考えますか | 77.8 | 80.5 (78.4) | | 2.7 |
| 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか | 80.7 | 80.8 (77.9) | | 0.1 |
| 算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか | 77.5 | 84.8 (80.9) | ◇ | 7.3 |
| 今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合) | 66.7 | 72.0 (70.2) | ◇ | 5.3 |

- 「算数の勉強は大切だ」と感じている児童の割合が昨年度と比べて減少しているが、高い割合であることは評価できる。(H27 93.2)
- 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」児童の割合が昨年度と比べて少し増加し、高い割合であることは評価できる。(H27 78.7)
- 「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」児童の割合が昨年度と比べて減少し、全国と比べて低いことは課題である。(H27 64.2)
- 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ」と感じている児童の割合が昨年度と比べて少し減少しているが、高い割合であることは評価できる。(H27 89.8)
- 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」児童の割合が昨年度と比べて少し増加し、高い割合であることは評価できる。(H27 79.2)
- 「算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている」児童の割合が全国と比べて低いことは課題である。(H27 77.9)
- 「今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題において、最後まで解答を書こうと努力した」児童の割合が昨年度と比べて減少し、全国と比べて低いことは課題である。(H27 72.2)

設問別調査結果 【算数A：主として知識】
泉佐野市教育委員会一児童

※一つの設問が複数の区分に該当する場合は、それぞれの区分について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域 | | | 評価の観点 | | | 問題形式 | | | 正答率(%) | | | 無解答率(%) | | | |
|------|--|--|--------------------------------------|------|----|-------|--------------|---------|--------------|-----------------|-----|--------|------|--------|---------|--------|--------|---------|
| | | | 数と計算 | 量と測定 | 図形 | 数量関係 | 算数への関心・意欲・態度 | 数学的な考え方 | 数量や図形についての技能 | 数量や図形についての知識・理解 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) | 全国(公立) | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) |
| 1(1) | $\square \div 0.8$ の商の大きさについて、正しいものを選ぶ | 除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解している | 5A(3)アイ | | | | | | | | | | 60.0 | 63.9 | 64.8 | 2.3 | 1.6 | 1.3 |
| 1(2) | $2.1 \div 0.7$ を、除数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く | 除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解している | 4A(3)エ 5A(3)イウ 5A(4)イ | | | | | | | | | | 64.0 | 67.2 | 68.5 | 0.8 | 0.4 | 0.4 |
| 1(3) | 小数の除法の結果を、乗法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く | 除法における計算の確かめの方法を理解している | 3A(4)イ 4A(3)エ 5A(3)イウ | | | | | | | | | | 87.1 | 87.4 | 87.9 | 1.6 | 1.2 | 1.1 |
| 2(1) | $905 - 8$ を計算する | 横り下がりのある減法の計算をすることができる | 3A(2)ア | | | | | | | | | | 90.1 | 91.3 | 90.9 | 0.7 | 0.4 | 0.4 |
| 2(2) | $4.65 + 0.3$ を計算する | 末尾の位のそろっていない小数の加法の計算をすることができる | 4A(5)イ | | | | | | | | | | 78.0 | 77.0 | 77.1 | 0.6 | 0.5 | 0.5 |
| 2(3) | $18 \div 0.9$ を計算する | 小数の除法の計算をすることができる | 5A(3)イ | | | | | | | | | | 75.5 | 76.3 | 77.7 | 1.2 | 1.1 | 1.1 |
| 2(4) | $(2 \div 9) \times 3$ を計算する | 乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をし、約分することができる | 5A(4)ウカ | | | | | | | | | | 84.5 | 86.3 | 87.0 | 2.8 | 2.1 | 1.9 |
| 3(1) | 二つの数の大小関係を表す不等号を書く | 不等号を理解している | 2A(1)ア 3A(1)イ | | | | | | | | | | 96.5 | 96.8 | 96.7 | 0.9 | 0.6 | 0.6 |
| 3(2) | 7, 1, 7, 7, 0.1 の中で一番小さい数と、一番大きい数を書く | 数の大小関係を理解している | 4A(5)ア | | | | | | | | | | 72.3 | 75.1 | 74.1 | 0.7 | 0.4 | 0.4 |
| 4 | 8 m^2 に14人座っているシートについて、 1 m^2 当たりの人数を求める式を書く | 単位置当たりの大きさの求め方を理解している | 5B(4)ア | | | | | | | | | | 67.1 | 71.5 | 72.0 | 4.5 | 4.2 | 4.3 |
| 5 | 三角形の底辺に対応する高さを選ぶ | 三角形の底辺と高さの関係について理解している | 5B(1)ア | | | | | | | | | | 83.2 | 82.0 | 82.0 | 1.4 | 1.2 | 1.1 |
| 6 | 4枚の三角定規でつくることのできる形を選ぶ | 図形の構成要素に着目して、図形を構成することができる | 1C(1)ア 2C(1)イ 3C(1)イ 4C(1)イ | | | | | | | | | | 74.1 | 77.9 | 79.6 | 2.2 | 1.3 | 1.0 |
| 7 | 直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ | 直方体における面と面の位置関係を理解している | 4C(2)ア | | | | | | | | | | 73.8 | 77.4 | 78.0 | 3.5 | 2.8 | 2.5 |
| 8 | テープ全体の長さを基にしたときの赤い部分の長さの割合が、一番大きいものを選ぶ | 全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解している | 5D(3) | | | | | | | | | | 73.3 | 72.8 | 74.4 | 2.8 | 2.3 | 2.1 |
| 9(1) | 前に10人、後ろに19人並んでいることを基に、列に並んでいる全体の人数を求める式と答えを書く | 示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことができる | 1A(1)ア 1A(2)ア | | | | | | | | | | 74.5 | 77.2 | 80.2 | 4.7 | 4.6 | 4.2 |
| 9(2) | 定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く | 1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解している | 5B(3) | | | | | | | | | | 45.8 | 50.0 | 50.9 | 7.5 | 6.4 | 5.7 |

設問別調査結果 【算数B：主として活用】
泉佐野市教育委員会一児童

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域 | | | 評価の観点 | | | 問題形式 | | | 正答率(%) | | | 無解答率(%) | | |
|------|--|---|----------------------------|-------------------|------------------|-------|--------------|---------|--------------|-----------------|-----|--------|------|--------|---------|--------|--------|
| | | | 数と計算 | 量と測定 | 図形 | 数量関係 | 算数への関心・意欲・態度 | 数学的な考え方 | 数量や図形についての技能 | 数量や図形についての知識・理解 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) | 全国(公立) | 貴教育委員会 |
| 1(1) | 1辺が9cmの正方形の縦と横の長さを変えたときの面積を求める式と答えとして、ふさわしい数値の組み合わせを書く | 示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じまじりが成り立つかを調べることができる | 3A(3)アイ | 4B(1)イ | | | | | | | | 90.2 | 92.5 | 92.6 | 1.2 | 0.5 | 0.4 |
| 1(2) | 正方形の縦の長さを2cm短くし、横の長さを2cm長くすると面積が4cm ² 小さくなることの説明を書く | 示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述できる | | 4B(1)アイ | | | | | | | | 37.6 | 41.2 | 45.2 | 7.5 | 4.6 | 4.0 |
| 2(1) | ハードルとハードルの間が5mのコースの、スタート地点から4台目のハードルを、巻き尺の何mのところを置けばよいか書く | ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4台目のハードルの位置を求めることができる | | | 3B(2)ア 4D(2)ア | | | | | | | 52.4 | 55.2 | 56.2 | 4.3 | 3.5 | 3.1 |
| 2(2) | 40mハードル走の目標のタイムを求める式に8・1と4を当てはめて、まなみさんの目標のタイムを求める式と答えを書く | 示された式に数値を当てはめて、目標のタイムを求めることができる | 3A(5)アイ 5A(3)ア | 4D(2)ア | | | | | | | | 47.1 | 50.4 | 50.5 | 5.6 | 4.4 | 4.2 |
| 2(3) | 目標のタイムを求める式の中の0・4や0・3が表す意味を書く | 示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる | 3A(5)アイ 5A(3)ア | | | | | | | | | 10.4 | 14.1 | 15.6 | 24.2 | 18.8 | 18.6 |
| 3(1) | 三つの式について、それぞれの式が何を計算しているかの説明文を選ぶ | 乗法や除法の式の意味を解釈することができる | 2A(2)ア 3A(4)ア 4A(5)ウ | | | | | | | | | 59.3 | 61.5 | 62.6 | 2.7 | 1.4 | 1.0 |
| 3(2) | 縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から、1辺9cmの正方形を24個切り取ることができるわけを書く | 縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を記述できる | 2A(2)ア 3A(4)ア | | | | | | | | | 35.2 | 37.1 | 38.4 | 23.1 | 18.4 | 17.4 |
| 3(3) | 1辺が9cmの正方形に内接する円をかくために、コンパスの鉛筆の先を合わせる位置を選ぶ | 正方形に内接する円の半径について理解している | | 3C(1)ウ 5C(1)ア | | | | | | | | 73.8 | 75.9 | 76.5 | 3.7 | 2.2 | 1.9 |
| 4(1) | 学校ごとの1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ | 単位置当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定することができる | 5B(4)ア | 3D(3) | | | | | | | | 45.1 | 43.7 | 48.3 | 3.7 | 2.2 | 1.9 |
| 4(2) | 示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ | 示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することができる | | 3D(3) | | | | | | | | 67.7 | 68.1 | 70.7 | 4.2 | 2.8 | 2.5 |
| 4(3) | A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く | グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述できる | | 4D(4)イ | | | | | | | | 21.7 | 23.2 | 24.9 | 20.0 | 14.4 | 13.2 |
| 5(1) | 示された形をつくることのできることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書く | 示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述できる | 3A(4)ア | 4B(2)イ 5C(1)アウ | 3D(1) | | | | | | | 4.9 | 6.0 | 6.9 | 23.2 | 19.0 | 18.7 |
| 5(2) | 示された四角形を並べてできる図形を選ぶ | 図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することができる | | 4B(2)イ 5C(1)アウ | | | | | | | | 26.5 | 26.8 | 25.4 | 10.4 | 8.7 | 8.9 |

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校児童質問紙

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（72問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（13問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きく特徴のある項目

| 設問内容種別 | 泉佐野市の状況 | 泉佐野市<泉佐野市回答率/全国回答率>（大阪府回答率） |
|------------|--|--|
| 【自分自身について】 | ○自分には、よいところがあると思う割合は、全国を下回っている。 | ○自分には、よいところがあると思いますか $<69.8/76.3>$ (72.9) |
| 【家庭生活の様子】 | ○午後10時までに就寝している割合は、全国を下回っている。 ○テレビゲームなどを2時間以上する割合は、全国を上回っている。 ○地域の行事、ボランティア活動に参加したことがある割合は、全国を下回っている。 ○新聞をほとんど、または、全く読まない割合が、全国を上回っている。 | ○普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか 午後10時より前 $<38.5/49.6>$ (38.4) ○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか 2時間以上 $<35.2/29.7>$ (34.8) ○今住んでいる地域の行事に参加していますか $<54.3/67.9>$ (57.3) ○地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか 参加したことがある $<25.1/36.2>$ (25.8) ○新聞を読んでいますか ほとんど、または、全く読まない $<60.3/54.7>$ (64.6) |
| 【家庭学習の様子】 | ○通塾率は、全国を上回っている。 ○読書を全くしない割合や、学校図書館や地域の図書館に、ほとんど、または、全く行かない割合は、全国を上回っている。 | ○学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか 通っていない $<48.3/53.9>$ (49.5) ○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） 全くしない $<34.2/20.6>$ (26.9) ○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか ほとんど、または、全く行かない $<39.0/31.1>$ (37.9) |

| | | |
|-------------|---|---|
| | <p>○家で、自分で計画を立てて勉強したり、授業の予習・復習をしている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○家で、予習・復習や自学自習において、教科書を使いながら学習している割合は、全国を下回っている。</p> | <p>○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか <53.7/62.2> (52.6)</p> <p>○家で、学校の授業の予習をしていますか <34.7/43.3> (34.9)</p> <p>○家で、学校の授業の復習をしていますか <40.0/55.2> (40.8)</p> <p>○家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか <57.1/64.6> (56.1)</p> |
| 【学校での学習の様子】 | <p>○話し合っって学級のきまりなどを決めていると思う割合は、全国を下回っている。</p> <p>○自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたりして話し合い、意見をまとめている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○学校のきまりを守っている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○人が困っているときは、進んで助けている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○「総合的な学習の時間」の勉強が好きな割合や、課題解決的な学習活動に取り組んでいる割合は、全国を下回っている。</p> <p>○授業の中で、課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う割合や、課題解決的な学習活動に取り組んでいたと思う割合、資料や</p> | <p>○学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか <72.0/81.8> (75.9)</p> <p>○学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか <50.0/58.6> (51.8)</p> <p>○学校のきまりを守っていますか <79.2/91.5> (86.6)</p> <p>○人が困っているときは、進んで助けていますか <77.6/84.6> (82.2)</p> <p>○「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか <72.2/77.2> (73.2)</p> <p>○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか <46.6/65.4> (53.2)</p> <p>○5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか <71.3/77.8> (72.9)</p> |

| | | |
|--|---|---|
| | <p>文章，話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う割合は，全国を下回っている。</p> <p>○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文，自分の考えを書くことが難しいと思う割合は，全国を上回っている。</p> <p>○話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができると思う割合は，全国を下回っている。</p> | <p>○5年生までに受けた授業では，学級やグループの中で自分たちで課題を立てて，その解決に向けて情報を集め，話し合いながら整理して，発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか <73.1/77.8> (72.9)</p> <p>○5年生までに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか <55.8/64.2> (58.7)</p> <p>○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか <67.9/60.4> (64.0)</p> <p>○学校の授業などで，自分の考えを他の人に説明したり，文章に書いたりすることは難しいと思いますか <61.5/54.8> (58.0)</p> <p>○学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか <60.4/68.3> (63.3)</p> |
|--|---|---|

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校質問紙

回答項目が3項目以上ある場合における割合については、肯定的・否定的な回答の2つの区分で判断して算出（「よく行った・どちらかといえば行った」を肯定的な回答ととらえた）した上で、肯定的な回答の割合を示した。

| 学習規律について | | | |
|--|-------|------|------|
| 学力との関連も深いと考えられるため、授業に集中できる学習環境を作るために、学習規律の維持を徹底する指導が引き続き必要である。 | | | |
| 質問事項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 児童は、熱意をもって勉強している | 84.7 | 94.8 | 93.4 |
| 児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いている | 77.0 | 90.9 | 90.5 |
| 児童は、礼儀正しい | 69.3 | 89.0 | 89.1 |
| 前年度までに、学習規律（私語をしない、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底した | 100.0 | 96.7 | 96.7 |

| 家庭学習について | | | |
|--|-------|------|------|
| 課題（宿題）を与え家庭学習を促し評価・指導を行っているが、課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図ることや、家庭学習の取組として調べたり文章を書いたりする宿題を出していることについては、全国・府と比較してもその率は低く、課題の内容や与え方について校内で共通理解を図るなど工夫が必要である。 | | | |
| 質問事項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えた | 100.0 | 99.6 | 99.4 |
| 国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導した | 100.0 | 98.5 | 98.1 |
| 算数の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えた | 100.0 | 99.8 | 99.6 |
| 算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導した | 100.0 | 98.8 | 98.3 |
| 前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行った（国語／算数共通） | 100.0 | 97.5 | 97.3 |
| 前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った（国語／算数共通） | 69.3 | 86.4 | 88.8 |
| 前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を出した（国語／算数共通） | 69.3 | 83.5 | 82.1 |
| 前年度までに、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた（国語／算数共通） | 92.4 | 87.4 | 91.9 |
| 予習・復習や宿題をさせる際に、教科書の活用（自宅等で教科書を読む等を含む）を促した（国語／算数共通） | 100.0 | 93.0 | 93.2 |

| 言語活動について | | | |
|---|-------|------|------|
| 各校において、各教科等のねらいを明確にした上で言語活動を適切に位置付け、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行っている。学習の過程において、自分の考えを深めたり、広げたりすることや、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立て等を工夫して、発言や発表を行うことに課題があり、言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取組を進める必要がある。 | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた | 100.0 | 95.4 | 92.8 |
| 前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした | 100.0 | 95.0 | 94.8 |
| 前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした | 69.3 | 79.7 | 83.7 |
| 前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導した | 77.0 | 90.0 | 90.5 |
| 前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をした | 100.0 | 94.5 | 93.9 |
| 前年度までに、道徳の時間において、児童自らが考え、話し合う指導をしましたか | 92.4 | 90.7 | 90.5 |
| 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ | 77.0 | 91.9 | 91.7 |
| 調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合い等の活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている | 53.9 | 75.6 | 69.2 |
| 調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立て等を工夫して、発言や発表を行うことができている | 38.5 | 68.7 | 61.2 |

| 指導改善について | | | |
|---|-------|------|------|
| 各校は、学力向上に向けた指導改善の取組を進めている。教科や総合的な学習の時間等において、ICTを活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行うこと、本やインターネット等を使った資料の調べ方が身に付くよう指導することに課題がある。また、授業等で、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱った率が全国・府と比較しても低く、身近な出来事等を授業に取り入れ、児童に興味・関心を持たせるなど工夫が必要である。国語・算数の指導においては、基礎基本を定着させる授業は行えているが、国語の指導において、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行うことに課題がある。 | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している | 100.0 | 85.5 | 85.6 |
| 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している | 92.4 | 84.9 | 88.5 |
| 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている | 77.0 | 87.6 | 91.4 |

| | | | |
|--|-------|------|------|
| 前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童に示す活動を計画的に取り入れた | 100.0 | 98.6 | 98.8 |
| 前年度までに、授業の最後に学習したことを児童が振り返る活動を計画的に取り入れた | 92.4 | 95.5 | 94.9 |
| 前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導した | 100.0 | 96.2 | 96.4 |
| 前年度までに、本やインターネット等を使った資料の調べ方が身に付くよう指導した | 69.3 | 90.2 | 91.9 |
| 前年度までに、児童に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行った | 84.7 | 79.0 | 74.6 |
| 前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた | 92.4 | 91.2 | 90.5 |
| 前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会等において、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱った | 53.9 | 72.6 | 78.1 |
| 前年度までに、国語や算数において、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等の多様な活動に取り組みさせることにより、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行った | 77.0 | 88.2 | 91.4 |
| 前年度までに、国語や算数において、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、児童の資質・能力がどのように伸びているかを、児童自身が把握できるような評価を行った | 61.6 | 74.9 | 76.1 |
| 前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行った | 46.2 | 71.4 | 68.4 |
| 調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句等基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った | 100.0 | 98.2 | 98.0 |
| 調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った | 69.3 | 91.2 | 87.4 |
| 調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題等の反復練習をする授業を行った | 100.0 | 98.5 | 97.7 |
| 調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行った | 77.0 | 78.6 | 74.1 |

| | | | |
|---|-------|------|------|
| 学校運営について | | | |
| 各校において、学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、地域との連携、地域人材の活用が進められている。今後、歴史館や図書館等を利用した授業の展開が望まれる。 | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる | 100.0 | 97.8 | 97.9 |
| 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている | 100.0 | 99.0 | 93.0 |
| 前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った | 84.7 | 83.9 | 82.4 |

| | | | |
|--------------------------------------|------|------|------|
| 前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行った | 30.8 | 58.9 | 46.2 |
| P T Aや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれる | 92.4 | 94.9 | 97.7 |
| 学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者等が様々な活動に参加してくれる | 84.7 | 89.1 | 86.9 |

| | | | |
|--|-------------|------------|-----------|
| 小中連携について | | | |
| 近隣の中学校と授業研究を行う等合同して研修を行うことや、意見交換を行う等教員同士の交流を行うことについて、全国・府と比較してもその率は低く、小中9年間の学び・学びの接続を意識した取組を進める必要がある。「学力向上プロジェクト」が全校区で実施されており、今後の成果を期待したい。 | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 前年度までに、近隣等の中学校と、教育目標を共有する取組を行った | 61.6 | 72.2 | 54.5 |
| 前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行う等、合同して研修を行った | 46.2 | 72.1 | 62.5 |
| 前年度までに、近隣等の中学校と、意見を交換し合う等、教員同士の交流を行った | 69.3 | 86.6 | 80.0 |
| 前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った | 46.2 | 57.6 | 47.1 |
| 平成27年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有した | 46.2 | 63.7 | 49.5 |

| | | | |
|---|-------------|------------|-----------|
| 学習状況調査の結果について | | | |
| 昨年度の全国学力・学習状況調査の分析結果を、学校全体で指導の改善に活用し、保護者や地域の人たちに公表や説明を行い、学力向上の取組を保護者に働きかけている。市の結果を併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行う必要がある。 | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有した | 100.0 | 99.0 | 98.7 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の分析結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用した | 92.4 | 97.7 | 97.0 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果について、保護者や地域の人たちに公表や説明を行った | 100.0 | 97.7 | 90.9 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果や学校評価の結果等を踏まえた学力向上の取組を保護者等に働きかけた | 92.4 | 94.3 | 90.2 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った | 69.3 | 84.5 | 93.2 |

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校国語

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率(泉佐野市 71.2 / 大阪府 73.5 / 全国 75.6)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国に比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率(泉佐野市 60.9 / 大阪府 63.3 / 全国 66.5)

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

| 国語 A | 課題等がみられた設問 |
|--|--|
| <p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○聞き手の立場を想定し、話の中心的な部分と不可的な部分との関係に注意して話すことに課題がある。</p> <p>1一 聞き手をどのように想定して話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する (75.4/80.7)</p> <p>○目的に応じて資料を効果的に活用して話すことに課題がある。</p> <p>1二 絵本のページを提示した意図として適切なものを選択する (70.7/78.1)</p> <p>○全体と部分との関係に注意して話を構成することに課題がある。</p> <p>5二 伝えたいことを明確にするために付け加える言葉として適切なものを選択する (83.6/88.7)</p> <p>○話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較することに課題がある。</p> <p>7一 相手の発言をどのように聞いているのかを説明したものとして適切なものを選択する (60.1/70.6)</p> <p>○互いの発言を検討して自分の考えを広げること</p> <p>に課題がある。</p> <p>7二 話し合いを踏まえた発言として適切なものを選択する (53.0/62.0)</p> | <p>【書くこと】</p> <p>○伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことに課題がある。</p> <p>2一 パンフレットの見出しを他の見出しの書き方を参考にして書く (71.5/78.1)</p> <p>○集めた材料を整理して文章を構成することに課題がある。</p> <p>2二 文章の一部を別の項目に移す理由として適切なものを選択する (64.1/73.2)</p> <p>○伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことに課題がある。</p> <p>4二 質問に対する答えが明確になるように適切な言葉を書く (69.5/78.7)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○文脈の中における語句の意味を理解することに課題がある。</p> <p>3一 「ライスカレーの名に値する」の意味として適切なものを選択する (79.7/84.7)</p> <p>○文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。</p> <p>6一 「不思議な機能」の説明として適切なものを選択する (74.7/81.3)</p> <p>○文章の構成や展開について自分の考えを持つことに課題がある。</p> <p>6二 文章について説明したものとして適切なものを選択する (60.4/67.3)</p> <p>○奥付の特徴や役割を理解することに課題がある。</p> <p>8一 奥付の特徴を説明したものとして適切なものを選択する (79.8/86.1)</p> |

| | |
|---|---|
| <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○文脈に即して漢字を正しく書くことは、出題された語句によって正答率に差がある。</p> <p>9-1 大学で歴史の<u>ケンキュウ</u>をする(→研究) (77.8/83.5)</p> <p>9-2 今までにない<u>ドクソウ</u>的な考えだ(→独創) (25.4/26.1)</p> <p>9-3 家の庭に花を<u>ウ</u>える(→植) (89.0/89.9)</p> <p>○文脈に即して漢字を正しく読むことは、出題された語句によって正答率に差がある。</p> <p>9二1 <u>封筒</u>を開ける(→ふうとう) (96.9/97.6)</p> <p>9二2 長年の努力が<u>報</u>われた(→むく) (93.4/94.8)</p> <p>9二3 目上の人を<u>敬</u>う(→うやま) (76.2/82.6)</p> <p>○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことは、出題された語句によって正答率に差がある。</p> <p>9三ア 適切な語句を選択する(彼は、忙しい仕事の合間を<u>縫</u>って、私に会いに来てくれた) (85.1/91.0)</p> <p>9三イ 適切な語句を選択する(厳しい挑戦だということ、<u>もちろん</u>分かっています) (94.6/97.9)</p> <p>9三エ 適切な敬語を選択する(私が<u>プリント</u>を集めて、先生に<u>お届け</u>します) (90.8/94.3)</p> | <p>○辞書を活かし、漢字が表している意味を正しく捉えることに課題がある。</p> <p>9四ア 漢字辞典の「意味」の中から、「<u>賛美</u>」の「美」の意味として適切なものを選択する (53.1/60.3)</p> <p>○文字の形や大きさ、配列に注意して書くことに課題がある。</p> <p>9六 題名の下書きをどのように書き直したのかを説明したものとして適切なものを選択する (38.7/36.4)</p> <p>○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことに課題がある。</p> <p>9七1 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(追ひし) (72.5/80.2)</p> <p>○歌に表れた作者の思いを想像することは概ねできている。</p> <p>9七2 「<u>忘れがたき</u>」の意味として適切なものを選択する (92.9/94.9)</p> |
|---|---|

| 国語B | 課 題 等 が み ら れ た 設 問 |
|---|---|
| <p>【書くこと】</p> <p>○文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに課題がある。</p> <p>1三 ちらしの表と裏の表現の工夫とその効果を書く (59.7/68.0)</p> <p>○課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えることに課題がある。</p> <p>2三 宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと、それを調べるために必要な本の探し方を書く (41.4/49.2)</p> <p>○本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>3三 図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く (48.5/57.7)</p> | <p>【読むこと】</p> <p>○文章の中心的部分と付加的部分とを読み分け、要旨を捉えることに課題がある。</p> <p>1一 ちらしの表と裏から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして適切なものを選択する (70.4/76.2)</p> <p>○目的に応じて文章を要約することに課題がある。</p> <p>2二 情報カードにまとめる内容として適切なものを選択する (58.2/64.0)</p> |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 泉佐野市 | 全国 (大阪府) | 10%○ 5%◇ | 差 |
|--|------|----------------|-------------|------|
| 国語の勉強は好きですか | 52.9 | 59.8 (57.8) | ◇ | 6.9 |
| 国語の勉強は大切だと思いますか | 85.2 | 89.1 (86.5) | | 3.9 |
| 国語の授業の内容はよく分かりますか | 71.0 | 74.1 (73.0) | | 3.1 |
| 読書は好きですか | 57.0 | 69.9 (61.9) | ○ | 12.9 |
| 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 77.6 | 84.6 (81.1) | ◇ | 7.0 |
| 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか | 44.6 | 62.2 (56.0) | ○ | 17.6 |
| 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか | 44.3 | 56.7 (52.9) | ○ | 12.4 |
| 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか | 57.9 | 66.7 (62.5) | ◇ | 8.8 |
| 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか | 64.4 | 71.3 (66.8) | ◇ | 6.9 |
| 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。最後まで解答を書こうと努力しましたか | 65.1 | 71.7 (68.6) | ◇ | 6.6 |

- 学習状況調査の中で、10項目のうち8項目と多くの項目において、全国との差が5%以上の差があることは課題である。
- 「国語の勉強が好きだ」と感じている生徒の割合が昨年度と比べて減少し、全国との差も広がったことは課題である。(H27 59.0)
- 「国語の勉強は大切だ」と感じている生徒の割合が昨年度と比べて少し減少しているが、高い割合であることは評価できる。(H27 86.7)
- 「読書は好きだ」と感じている生徒の割合が昨年度と比べて少し増加しているが、全国と比べて低いことは課題である。(H27 56.7)
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つ」と感じている生徒の割合が昨年度と比べて少し減少し、全国と比べて低いことは課題である。(H27 78.4)
- 「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」生徒の割合が昨年度と比べて増加し、全国との差も縮まっているが、全国と比べて低いことは課題である。(H27 40.8)
- 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している」生徒の割合が昨年度と比べて増加し、全国との差も縮まっているが、全国と比べて低いことは課題である。(H27 40.2)
- 「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている」生徒の割合が昨年度と比べて少し増加し、全国との差も縮まっているが、全国と比べて低いことは課題である。(H27 56.5)
- 「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいる」生徒の割合が昨年度と比べて減少し、全国と比べて低いことは課題である。(H27 64.8)
- 「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題において、最後まで解答を書こうと努力した」生徒の割合が昨年度と比べて減少し、国語Bの最終問題（記述式）の無答率は33.3%と高く、全国の22.8%と比べて差が大きいことは課題である。(H27 70.8)

設問別調査結果 [国語A：主として知識]
泉佐野市教育委員会 一生徒

※一つの設問が複数の区分に該当する場合は、それぞれの区分について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域等 | | | | 評価の観点 | | | 問題形式 | | | 正答率(%) | | | 無解答率(%) | | | | |
|------|---|-------------------------------------|------------|------|--------|----------------------|--------------|---------|------|------|-----------------|-----|--------|-----|--------|---------|--------|--------|---------|--------|
| | | | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 国語への関心・意欲・態度 | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) | 全国(公立) | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) | 全国(公立) |
| 1一 | 聞き手をどのように想定して話しているのかを説明したのとして適切なものを選択する | 聞き手の立場を想定し、話の中心的部分と付加的部分との関係に注意して話す | 2 イ | | | | | | | | ○ | | | | 75.4 | 78.9 | 80.7 | 0.1 | 0.1 | 0.1 |
| 1二 | 絵本のページを提示した意図として適切なものを選択する | 目的に応じて資料を効果的に活用して話す | 2 ウ | | | | | | | | ○ | | | | 70.7 | 74.0 | 78.1 | 0.2 | 0.2 | 0.2 |
| 2一 | パンフレットの見出しを他の見出しの書き方を参考にして書く | 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く | 2 ウ | | | | | | | | ○ | | ○ | | 71.5 | 73.0 | 78.1 | 7.4 | 4.9 | 3.5 |
| 2二 | 文章の一部を別の項目に移す理由として適切なものを選択する | 集めた材料を整理して文章を構成する | 1 イ | | | | | | | | ○ | | ○ | | 64.1 | 69.0 | 73.2 | 0.4 | 0.3 | 0.3 |
| 3一 | 「ライスカレーの名に値する」の意味として適切なものを選択する | 文脈の中における語句の意味を理解する | | | 1 ア | | | | | | | ○ | | | 79.7 | 82.7 | 84.7 | 0.2 | 0.2 | 0.2 |
| 3二 | 「私」にととのてのライスカレーを説明したものとして適切なものを選択する | 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する | | | 2 イ | | | | | | | ○ | | | 88.0 | 89.2 | 90.0 | 0.2 | 0.2 | 0.2 |
| 4一 | 答えの文章を直した意図として適切なものを選択する | 文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く | 2 エ | | | | | | | | ○ | | ○ | | 64.7 | 61.9 | 64.7 | 0.4 | 0.6 | 0.6 |
| 4二 | 質問に対する答えが明確になるように適切な言葉を書く | 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く | 1 ウ | | | | | | | | ○ | | ○ | | 69.5 | 76.0 | 78.7 | 16.2 | 11.0 | 8.7 |
| 5一 | 電話を受けた相手のことを考えた言葉を書く | 相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話す | 1 ウ | | | | | | | | ○ | | ○ | | 88.4 | 91.5 | 93.1 | 8.0 | 4.7 | 3.7 |
| 5二 | 伝えたいことを明確にするために付け加える言葉として適切なものを選択する | 全体と部分との関係に注意して語を構成する | 1 イ | | | | | | | | ○ | | ○ | | 83.6 | 87.4 | 88.7 | 0.8 | 0.3 | 0.3 |
| 6一 | 「不思議な機能」の説明として適切なものを選択する | 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える | | | 1 イ | | | | | | | ○ | | | 74.7 | 79.3 | 81.3 | 0.8 | 0.3 | 0.4 |
| 6二 | 文章について説明したものとして適切なものを選択する | 文章の構成や展開について自分の考えをもつ | | | 1 エ | | | | | | | ○ | | | 60.4 | 64.9 | 67.3 | 1.0 | 0.5 | 0.6 |
| 7一 | 相手の発言をどのように聞いているのかを説明したものとして適切なものを選択する | 話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する | 2 エ | | | | | | | | ○ | | | | 60.1 | 67.9 | 70.6 | 0.9 | 0.4 | 0.5 |
| 7二 | 話し合いを踏まえた発言として適切なものを選択する | 互いの発言を検討して自分の考えを広げる | 2 オ | | | | | | | | ○ | | ○ | | 53.0 | 58.6 | 62.0 | 0.9 | 0.5 | 0.6 |
| 8一 | 奥付の特徴を説明したものとして適切なものを選択する | 奥付の特徴や役割を理解する | | | 1 カ | | | | | | | ○ | | | 79.8 | 84.4 | 86.1 | 1.8 | 1.1 | 1.3 |
| 8二 | 資料集を活用するときの留意点を説明したものとして適切なものを選択する | 奥付を使って本についての情報を得る | | | 1 カ | | | | | | | ○ | | ○ | 57.5 | 59.5 | 62.4 | 2.0 | 1.4 | 1.6 |
| 9一1 | 漢字を書く(大学で歴史のケンキュウをすすめる) | | | | | | 2(1) ウ(イ) | | | | | ○ | ○ | | 77.8 | 77.1 | 83.5 | 8.1 | 8.0 | 5.8 |
| 9一2 | 漢字を書く(今までにないドクソウ的な考えだ) | 文脈に即して漢字を正しく書く | | | | | 2(1) ウ(イ) | | | | | ○ | ○ | | 25.4 | 23.8 | 26.1 | 17.7 | 13.3 | 11.4 |
| 9一3 | 漢字を書く(家の庭に花をさえる) | | | | | | 2(1) ウ(イ) | | | | | ○ | ○ | | 89.0 | 90.0 | 89.9 | 6.5 | 5.3 | 5.2 |
| 9二1 | 漢字を読む(針蓋を開ける) | | | | | | 2(1) ウ(ア) | | | | | ○ | ○ | | 96.9 | 97.2 | 97.6 | 2.2 | 1.5 | 1.3 |
| 9二2 | 漢字を読む(長年の努力が報われた) | 文脈に即して漢字を正しく読む | | | | | 2(1) ウ(ア) | | | | | ○ | ○ | | 93.4 | 94.3 | 94.8 | 3.3 | 2.3 | 2.0 |
| 9二3 | 漢字を読む(目上の人を敬う) | | | | | | 2(1) ウ(ア) | | | | | ○ | ○ | | 76.2 | 81.2 | 82.6 | 8.1 | 4.9 | 4.8 |
| 9三ア | 適切な語句を選択する(彼は、忙しい仕事の合間を縫って、私に会いに来てくれた) | | | | | | 1(1) イ(ウ) | | | | | ○ | ○ | | 85.1 | 88.2 | 91.0 | 0.8 | 0.5 | 0.6 |
| 9三イ | 適切な語句を選択する(厳しい挑戦ということは、もちろん分かっています) | | | | | | 1(1) イ(ウ) | | | | | ○ | ○ | | 94.6 | 97.8 | 97.9 | 0.9 | 0.5 | 0.5 |
| 9三ウ | 適切な語句を選択する(弟子を手塩にかけて育てる) | 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う | | | | | 1(1) イ(ウ) | | | | | ○ | ○ | | 58.9 | 58.5 | 59.3 | 1.5 | 1.0 | 1.1 |
| 9三エ | 適切な敬語を選択する(私がプリントを集めて、先生にお届けします) | | | | | | 2(1) イ(ア) | | | | | ○ | ○ | | 90.8 | 93.3 | 94.3 | 1.1 | 0.6 | 0.6 |
| 9三オ | 適切な語句を選択する(会長候補として、白羽の矢が立つ) | | | | | | 1(1) イ(ウ) | | | | | ○ | ○ | | 52.0 | 51.6 | 54.0 | 1.0 | 0.7 | 0.8 |
| 9四ア | 漢和辞典の「意味」の中から、「貴美」の「美」の意味として適切なものを選択する | 辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える | | | | | 1(1) イ(ア) | | | | | ○ | ○ | | 53.1 | 57.4 | 60.3 | 1.3 | 0.9 | 1.0 |
| 9四イ | 漢和辞典の「意味」の中から、「貴美」の「美」の意味として適切なものを選択する | | | | | | 1(1) イ(ア) | | | | | ○ | ○ | | 61.2 | 61.6 | 62.8 | 1.6 | 1.0 | 1.0 |
| 9五 | 文章を書き直した意図として適切なものを選択する | 文の成分の照応について理解する | | | | | 2(1) ウ(ウ) | | | | | ○ | ○ | | 49.5 | 49.6 | 50.8 | 2.2 | 1.2 | 1.3 |
| 9六 | 題名の下書きをどのように書き直したのかを説明したものとして適切なものを選択する | 文字の形や大きさ、配列に注意して書く | | | | | 1(2) ア | | | | | ○ | ○ | | 38.7 | 32.7 | 36.4 | 1.1 | 0.9 | 1.2 |
| 9七1 | 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(読み直し) | 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む | | | | | 1(1) ア | | | | | ○ | ○ | | 72.5 | 78.4 | 80.2 | 7.3 | 5.0 | 4.4 |
| 9七2 | 「忘れがたき」の意味として適切なものを選択する | 歌に表れた作者の思いを想像する | | | | | 2(1) ア(イ) | | | | | ○ | ○ | | 92.9 | 94.7 | 94.9 | 2.1 | 1.3 | 1.7 |

設問別調査結果 【国語B：主として活用】
 泉佐野市教育委員会 一 生徒

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれ分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域等 | | | | 評価の観点 | | | 問題形式 | | | 正答率(%) | | | 無解答率(%) | | | | |
|------|---|--------------------------------------|------------|------|------|----------------------|---------|------|------|-----------------|-----|-----|--------|--------|---------|---------|--------|---------|--------|------|
| | | | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) | 全国(公立) | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) | 全国(公立) | |
| 1一 | ちらしの表と裏から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が聞かれるねらいとして適切なものを選択する | 文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える | | | 1イ | | | | | ○ | | ○ | | | 70.4 | 73.1 | 76.2 | 0.3 | 0.2 | 0.2 |
| 1二 | 関連イベントの「～職人の技を見てみよう～」に参加することができる日付として適切なものを選択する | 目的に応じて必要な情報を読み取る | | | 1カ | | | | | ○ | | ○ | | | 78.9 | 81.3 | 83.3 | 0.3 | 0.2 | 0.2 |
| 1三 | ちらしの表と裏の表現の工夫とその効果を書く | 文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く | 2ウ | 2ウ | | ○ | | ○ | | | | ○ | | | 59.7 | 63.5 | 68.0 | 16.3 | 10.6 | 7.8 |
| 2一 | 雑誌の記事の説明として適切なものを選択する | 文章の構成を捉える | | | 1エ | | | | | ○ | | ○ | | | 62.7 | 62.7 | 64.9 | 0.5 | 0.3 | 0.2 |
| 2二 | 情報カードにまとめる内容として適切なものを選択する | 目的に応じて文章を要約する | | | 1イ | | | | | ○ | | ○ | | | 58.2 | 61.7 | 64.0 | 0.4 | 0.3 | 0.3 |
| 2三 | 宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと、それを調べるために必要な本の探し方を書く | 課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える | 1ア | 1カ | | ○ | | ○ | | | | ○ | | | 41.4 | 42.8 | 49.2 | 11.8 | 8.1 | 6.0 |
| 3一 | 物語の展開に沿って巳之助の様子を並べ替える | 文章の展開に即して内容を理解する | | | 1ウ | | | | | ○ | | | ○ | | 67.5 | 68.2 | 71.1 | 2.6 | 1.6 | 1.2 |
| 3二 | 物語に書かれている事柄について図鑑の説明から分かることとして適切なものを選択する | 目的に応じて必要な情報を読み取る | | | 1カ | | | | | ○ | | ○ | | | 60.6 | 62.9 | 64.7 | 1.2 | 0.8 | 0.8 |
| 3三 | 図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く | 本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く | 1ウ | 1カ | | ○ | | ○ | | | | ○ | | | 48.5 | 53.7 | 57.7 | 33.3 | 26.7 | 22.8 |

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校数学

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが，全国と比べ中・上位層がやや少なく，中位層がやや多い。
平均正答率(泉佐野市 57.4/大阪府 61.7/全国 62.2)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国と比べ上位層及び中位層がやや少なく，下位層に少し偏っている。
平均正答率(泉佐野市 38.2/大阪府 43.1/全国 44.1)

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

| 数学A | 課題等がみられた設問 |
|--|---|
| <p>【数と式】</p> <p>○正の数と負の数の加法の計算は概ねできている。 1 (3) $-3 + (-7)$ を計算する (90.3/91.6)</p> <p>○数量の関係を文字式に表すことは課題がある。 2 (1) ある数を3でわると，商がaで余りが2になるとき，ある数をaを用いた式で表す (27.2/32.2)</p> <p>○整式の加法と減法の計算は概ねできている。 2 (2) $(2x + 5y) + 3(x - 2y)$ を計算する (80.2/84.0)</p> <p>○具体的な場面で数量の関係を表す式を，等式の性質を用いて，目的に応じて変形することに課題がある。 2 (4) 等式 $S = ah$ をhについて解く (61.4/67.9)</p> <p>○簡単な一元一次方程式を解くことに課題がある。 3 (1) 一元一次方程式 $x + 12 = -2x$ を解く (63.7/71.3)</p> <p>○具体的な場面における数量の関係を捉え，比例式をつくることに課題がある。 3 (3) 縦と横の長さの比が5 : 8の長方形の看板について，縦の長さが45cmのときの横の長さxcmを決めるための比例式をつくる (45.9/52.3)</p> <p>○2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り，2つの二元一次方程式で表すことは概ねできている。 3 (4) 方程式 $2x + y = x - y = 3$ から，xとyの値を求めるための連立方程式を完成させる (85.0/89.7)</p> | <p>【図形】</p> <p>○垂線の作図の方法について理解することに課題がある。 4 (1) 与えられた方法で作図された直線についていえることを選ぶ (25.2/30.9)</p> <p>○空間における直線と直線との位置関係（辺と辺とがねじれの位置にあること）を理解することに課題がある。 5 (1) 三角柱において，与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く (66.8/75.5)</p> <p>○四角形をその面と垂直な方向に平行に動かすと，四角柱が構成されることを理解することに課題がある。 5 (2) 四角形をその面に垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を書く (67.2/74.0)</p> <p>○見取図に表された立方体の角の大きさの関係を読み取ることに課題がある。 5 (3) 立方体の見取図を読み取り，2つの角の大きさの関係について，正しい記述を選ぶ (72.5/78.8)</p> <p>○円錐の体積は，それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の1/3であることを理解することに課題がある。 5 (4) 円柱の体積が600cm³のとき，その円柱と底面の円が合同で高さが等しい円錐の体積を求める (42.7/49.9)</p> <p>○三角形の合同条件を理解することに課題がある。 7 (1) $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であるための条件として，正しいものを選ぶ (64.5/70.8)</p> |

| | |
|---|---|
| <p>○ひし形について対角線が垂直に交わることを，記号を用いて表すことに課題がある。</p> <p>7 (2) ひし形の対角線が垂直に交わることを，記号を用いて表す (52. 1/74. 7)</p> <p>○命題の逆を理解することに課題がある。</p> <p>7 (3) 図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する (66. 4/72. 3)</p> <p>○証明の必要性と意味を理解することに課題がある。</p> <p>8 証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて，正しい記述を選ぶ (56. 4/61. 9)</p> <p>【関数】</p> <p>○比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え，xの値に対応するyの値を求めることに課題がある。</p> <p>9 (1) 比例の表を完成させる (83. 2/87. 9)</p> <p>○比例の式について，xの値の増加に伴うyの増加量を求めることに課題がある。</p> <p>9 (2) 比例$y=2x$について，xの値が1から4まで増加したときのyの増加量を求める (34. 5/39. 4)</p> <p>○反比例のグラフ上の点の座標から，xとyの関係を式で表すことに課題がある。</p> <p>9 (4) 反比例のグラフから式を求める (32. 5/34. 5)</p> | <p>○一次関数のグラフの特徴について，表と関連付けて理解することに課題がある。</p> <p>10 (1) 一次関数の表からグラフを選ぶ (54. 8/61. 9)</p> <p>○具体的な事象における一次関数の関係を式に表すことに課題がある。</p> <p>11 一次関数の事象を式で表す (43. 4/53. 0)</p> <p>【資料の活用】</p> <p>○資料を整理した表から最頻値を読み取ることに課題がある。</p> <p>12 (1) 読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から，読んだ本の冊数の最頻値を求める (34. 2/45. 5)</p> <p>○測定値が与えられた場面において，近似値と誤差の意味を理解することに課題がある。</p> <p>12 (2) ある郵便物の重さについて，デジタルはかりで表示された値を基に，真の値の範囲を選ぶ (32. 9/34. 7)</p> <p>○簡単な場合について，確率を求めることに課題がある。</p> <p>13 (2) 1から13までの数字が書かれた13枚のカードから5または11のカードをひく確率を求める (72. 6/79. 6)</p> |
|---|---|

| 数学B | 課題等がみられた設問 |
|---|--|
| <p>【数と式】 ○与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することに課題がある。 1 (2) 葉月さんの提案を取り入れたとき、1試合の時間を求めるための方程式をつくる (28.3/33.4)</p> <p>○適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 1 (3) 1試合の時間を10分とることができるかについて正しい記述を選び、その理由を式を基に説明する (43.9/51.4)</p> <p>【関数】 ○条件を基に、表から数量の変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることに課題がある。 2 (1) 一次関数の表から$x=4$のときのyの値を求める (53.8/59.1)</p> <p>○加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することに課題がある。 2 (2) $x=4$のとき$y=9$になるように、xとyの間の関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する (16.2/20.6)</p> <p>○与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することに課題がある。 3 (1) A車を購入して10年間使用するときの総費用を求める (62.2/67.4)</p> <p>○グラフの傾きを事象に即して解釈することは概ねできている。 3 (2) B車の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、グラフの傾きが表すものを選ぶ (30.6/29.8)</p> | <p>○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 3 (3) A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する (22.6/30.3)</p> <p>【図形】 ○筋道を立てて考え、証明することに課題がある。 4 (1) 2つの辺の長さが等しい事を、三角形の合同を利用して証明する。 (26.4/29.4)</p> <p>○付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することに課題がある。 4 (2) $DA : DC = 1 : 2$のときの$\triangle DEC$がどのような三角形になるかを説明する (27.7/37.3)</p> <p>【資料の活用】 ○資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 5 (1) 24.5cmの靴を最も多く買うという考えが適切ではない理由を、グラフの特徴を基に説明する (39.7/47.6)</p> <p>○与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することに課題がある。 5 (2) 25.5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く (17.8/31.1)</p> <p>【数と式】 ○問題場面における考察の対象を明確に捉えることに課題がある。 6 (1) 最初に決めた数が5のとき、手順通りに求めた数を書く (69.2/76.4)</p> <p>○与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することに課題がある。 6 (2) 文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する (10.7/15.4)</p> |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 泉佐野市 | 全国 (大阪府) | 10%○ 5%◇ | 差 |
|--|------|----------------|-------------|-----|
| 数学の勉強は好きですか | 58.7 | 56.0 (56.1) | | 2.7 |
| 数学の勉強は大切だと思いますか | 77.0 | 80.5 (77.8) | | 3.5 |
| 数学の授業の内容はよく分かりますか | 69.3 | 69.4 (70.4) | | 0.1 |
| 数学ができるようになりたいと思いますか | 87.6 | 91.3 (89.0) | | 3.7 |
| 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか | 73.7 | 72.1 (71.4) | | 1.6 |
| 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか | 44.6 | 41.9 (40.9) | | 2.7 |
| 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 68.0 | 71.5 (68.0) | | 3.5 |
| 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか | 67.2 | 69.0 (67.1) | | 1.8 |
| 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか | 67.1 | 69.8 (67.6) | | 2.7 |
| 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか | 74.2 | 81.1 (77.3) | ◇ | 6.9 |
| 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか | 87.3 | 92.7 (90.7) | ◇ | 5.4 |

- 「今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」生徒の割合が昨年と比べて増加し、高い割合であることは評価できる。
(H27 51.1)
- 「数学ができるようになりたい」と感じている生徒の割合が昨年と比べて減少しているが、高い割合であることは評価できる。
(H27 89.6)
- 「数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている」生徒の割合が全国と比べて低いことは課題である。
(H27 70.0)

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの区分について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域 | | | | 評価の観点 | | | | 問題形式 | | | 正答率(%) | | | 無解答率(%) | | |
|-------|---|---|-----------|----|----|-------|--------------|------------|--------|-------------------|------|-----|-----|--------|---------|--------|---------|---------|--------|
| | | | 数と式 | 図形 | 関数 | 資料の活用 | 数学への関心・意欲・態度 | 数学的な見方や考え方 | 数学的な技能 | 数量や図形などについての知識・理解 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) | 全国(公立) | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) | 全国(公立) |
| 1(1) | $\frac{2}{5} \times 0.6$ を計算する | 分数と小数の乗法の計算ができる | 小6(1)イ | | | | | ○ | | | ○ | | | 66.8 | 69.6 | 66.9 | 8.2 | 6.0 | 5.0 |
| 1(2) | -5, 0, 1, 2, 5, 4 の中から自然数を全て選ぶ | 自然数の意味を理解している | 1(1)ア | | | | | | ○ | ○ | | | | 42.2 | 45.6 | 40.6 | 0.2 | 0.3 | 0.2 |
| 1(3) | $-3 + (-7)$ を計算する | 正の数と負の数の加法の計算ができる | 1(1)ウ | | | | | ○ | | | ○ | | | 90.3 | 91.4 | 91.6 | 2.1 | 1.1 | 0.7 |
| 1(4) | 今日の水位が1週間前の水位からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ | ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している | 1(1)ア,エ | | | | | | ○ | ○ | | | | 67.4 | 69.5 | 69.0 | 0.5 | 0.3 | 0.3 |
| 2(1) | ある数を3でわると、商が a で余りが2になるとき、ある数を a を用いた式で表す | 数量の関係を文字式に表すことができる | 1(2)エ | | | | | ○ | | | ○ | | | 27.2 | 33.1 | 32.2 | 15.8 | 13.3 | 12.5 |
| 2(2) | $(2x + 5y) + 3(x - 2y)$ を計算する | 整式の加法と減法の計算ができる | 2(1)ア | | | | | ○ | | | | | | 80.2 | 83.7 | 84.0 | 5.6 | 3.4 | 2.5 |
| 2(3) | ある数 a について、不等式 $a > 5$ と表せる事柄を選ぶ | 不等式の意味を読み取ることができる | 1(2)エ | | | | | ○ | | ○ | | | | 74.9 | 77.2 | 78.2 | 0.3 | 0.4 | 0.3 |
| 2(4) | 等式 $3 = ah$ を h について解く | 具体的な場面で数量の関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形できる | 2(1)ウ | | | | | ○ | | | ○ | | | 61.4 | 68.1 | 67.9 | 13.3 | 9.4 | 8.2 |
| 3(1) | 一元一次方程式 $x + 12 = -2x$ を解く | 簡単な一元一次方程式を解くことができる | 1(3)ウ | | | | | ○ | | | ○ | | | 63.7 | 69.9 | 71.3 | 9.7 | 6.3 | 5.1 |
| 3(2) | 一元一次方程式 $2x = x + 3$ の解について、正しい記述を選ぶ | 一元一次方程式の解の意味を理解している | 1(3)ア | | | | | | ○ | ○ | | | | 43.4 | 49.6 | 47.2 | 0.7 | 0.6 | 0.5 |
| 3(3) | 縦と横の長さが5:8の長方形の看板について、縦の長さが4.5cmのときの横の長さ x cmを決めるための比例式をつくる | 具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくることができる | 1(3)ウ | | | | | ○ | | | ○ | | | 45.9 | 50.5 | 52.3 | 21.1 | 16.8 | 15.4 |
| 3(4) | 方程式 $2x + y = x - y = 3$ から、 x と y の値を求めるための連立方程式を完成させる | 2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表すことができる | 2(2)イ,ウ | | | | | ○ | | | ○ | | | 85.0 | 87.8 | 89.7 | 9.9 | 7.1 | 5.4 |
| 4(1) | 与えられた方法で作図された直線についていることを選ぶ | 垂線の作図の方法について理解している | 1(1)ア | | | | | | ○ | ○ | | | | 25.2 | 29.3 | 30.9 | 1.3 | 0.8 | 0.8 |
| 4(2) | $\triangle ABC$ を、直線 l を軸として対称移動した図形をかく | 対称移動した図形をかきことができる | 1(1)イ | | | | | ○ | | | ○ | | | 67.1 | 69.3 | 71.8 | 4.4 | 2.7 | 2.0 |
| 5(1) | 三角柱において、与えられた辺と角の位置にある辺を書く | 空間における直線と直線との位置関係(辺と辺がねじれの位置にあること)を理解している | 1(2)ア | | | | | | ○ | | ○ | | | 66.8 | 72.3 | 75.5 | 6.1 | 3.4 | 2.6 |
| 5(2) | 四角形をその面に垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を書く | 四角形をその面に垂直な方向に平行に動かすと、四角柱が構成されることを理解している | 1(2)イ | | | | | | ○ | | ○ | | | 67.2 | 73.6 | 74.0 | 9.7 | 6.7 | 5.6 |
| 5(3) | 立方体を見取図を読み取り、2つの角の大きさの割合について、正しい記述を選ぶ | 見取図に表された立方体の角の大きさの割合を読み取ることができる | 1(2)イ | | | | | ○ | | ○ | | | | 72.5 | 78.3 | 78.8 | 0.8 | 0.7 | 0.6 |
| 5(4) | 円柱の体積が 600cm^3 のとき、その円柱と底面の円が合同で高さが等しい円錐の体積を求める | 円錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の $\frac{1}{3}$ であることを理解している | 1(2)ウ | | | | | | ○ | | ○ | | | 42.7 | 48.2 | 49.9 | 20.0 | 15.3 | 14.2 |
| 6(1) | 平行線や角の性質を用いて $\angle APB$ の大きさを求める | 平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる | 2(1)ア | | | | | ○ | | | ○ | | | 74.8 | 76.0 | 74.8 | 6.9 | 4.8 | 4.5 |
| 6(2) | 多角形の外角の和について、正しい記述を選ぶ | 多角形の外角の和の性質を理解している | 2(1)イ | | | | | | ○ | ○ | | | | 64.7 | 69.4 | 69.3 | 1.4 | 0.8 | 0.8 |
| 7(1) | $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であるための条件として、正しいものを選ぶ | 三角形の合同条件を理解している | 2(2)ア | | | | | | ○ | ○ | | | | 64.5 | 70.5 | 70.8 | 0.8 | 0.8 | 0.8 |
| 7(2) | ひし形の対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表す | ひし形について対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表すことができる | 2(2)イ,ウ | | | | | ○ | | | ○ | | | 62.1 | 72.3 | 74.7 | 19.5 | 13.5 | 11.4 |
| 7(3) | 図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する | 命題の逆を理解している | 2(2)イ | | | | | | ○ | | ○ | | | 66.4 | 69.5 | 72.3 | 11.8 | 9.5 | 7.7 |
| 8 | 証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて、正しい記述を選ぶ | 証明の必要性と意味を理解している | 2(2)イ,ウ | | | | | | ○ | ○ | | | | 56.4 | 59.8 | 61.9 | 1.3 | 1.1 | 1.2 |
| 9(1) | 比例の表を完成させる | 比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、 x の値に対応する y の値を求めることができる | 1(1)エ | | | | | ○ | | | ○ | | | 83.2 | 87.0 | 87.9 | 6.4 | 4.0 | 3.2 |
| 9(2) | 比例 $y = 2x$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める | 比例の式について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる | 1(1)エ | | | | | ○ | | | ○ | | | 34.5 | 38.3 | 39.4 | 16.5 | 13.4 | 12.1 |
| 9(3) | 反比例を表した事象を選ぶ | 具体的な事象における2つの数量の関係を、反比例の関係になることを理解している | 1(1)イ | | | | | | ○ | ○ | | | | 40.2 | 43.2 | 42.0 | 1.5 | 1.2 | 1.3 |
| 9(4) | 反比例のグラフから式を求める | 反比例のグラフ上の点の座標から、 x と y の関係を式で表すことができる | 1(1)エ | | | | | | ○ | | ○ | | | 32.5 | 35.2 | 34.5 | 19.5 | 15.3 | 14.8 |
| 10(1) | 一次関数の表からグラフを選ぶ | 一次関数のグラフの特徴について、表と関連付けて理解している | 2(1)イ | | | | | | ○ | | ○ | | | 54.8 | 60.7 | 61.9 | 1.9 | 1.5 | 1.6 |
| 10(2) | 一次関数の式から変化の割合を求める | 一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合が一定で a の値に等しいことを理解している | 2(1)イ | | | | | | ○ | | ○ | | | 52.9 | 55.2 | 54.6 | 27.1 | 22.9 | 22.3 |
| 10(3) | 一次関数のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める | 一次関数のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる | 2(1)イ | | | | | ○ | | | ○ | | | 40.3 | 43.1 | 43.0 | 25.0 | 20.1 | 18.9 |
| 11 | 一次関数の事象を式で表す | 具体的な事象における一次関数の関係を式に表すことができる | 2(1)ア | | | | | | ○ | | ○ | | | 43.4 | 51.3 | 53.0 | 19.8 | 15.4 | 14.1 |
| 12(1) | 読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める | 資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる | 1(1)ア | | | | | | ○ | | ○ | | | 34.2 | 41.9 | 45.5 | 25.9 | 19.4 | 17.4 |
| 12(2) | ある郵便物の重さについて、デジタルはかりで表示された値を基に、真の値の範囲を選ぶ | 測定値が与えられた場面において、誤差値と誤差の意味を理解している | 1(1)イ | | | | | | ○ | ○ | | | | 32.9 | 34.6 | 34.7 | 2.2 | 2.2 | 2.5 |
| 13(1) | 1枚の硬貨を投げたときの確率について、正しい記述を選ぶ | 「同様に確からしい」ことの意味や、前の試行が次の試行に影響しないことを理解している | 2(1)ア | | | | | | ○ | ○ | | | | 64.7 | 65.5 | 66.0 | 2.0 | 1.6 | 1.9 |
| 13(2) | 1から13までの数字が書かれた13枚のカードから5または11のカードをひく確率を求める | 簡単な場合について、確率を求めることができる | 2(1)ア | | | | | | ○ | | ○ | | | 72.6 | 79.0 | 79.6 | 13.0 | 9.0 | 8.5 |

設問別調査結果 [数学B：主として活用]

泉佐野市教育委員会 生徒

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域 | | | | 評価の観点 | | | | 問題形式 | | | 正答率(%) | | | 無解答率(%) | | | |
|------|--|---|-----------|----|---------|-------|--------------|------------|--------|-------------------|------|-----|-----|--------|---------|--------|---------|---------|--------|------|
| | | | 数と式 | 図形 | 関数 | 資料の活用 | 数学への関心・意欲・態度 | 数学的な見方や考え方 | 数学的な技能 | 数量や図形などについての知識・理解 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) | 全国(公立) | 貴教育委員会 | 大阪府(公立) | 全国(公立) | |
| 1(1) | 1試合の時間を16分とすると、1回の休憩の時間を求める | 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することができる | 1(3)ウ | | | | | | | | | ○ | | | 75.1 | 78.7 | 79.3 | 2.8 | 1.8 | 1.2 |
| 1(2) | 葉月さんの提案を取り入れたとき、1試合の時間を求めるための方程式をつくる | 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することができる | 1(3)ウ | | | | | | | | | ○ | | | 28.3 | 32.2 | 33.4 | 28.2 | 22.2 | 19.3 |
| 1(3) | 1試合の時間を10分とすることができるかについて正しい記述を選び、その理由を式を基に説明する | 適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができる | 1(3)ウ | | | | | | | | | ○ | | | 43.9 | 49.4 | 51.4 | 3.5 | 2.6 | 2.3 |
| 2(1) | 一次関数の表から、 $x=4$ のときの y の値を求める | 条件を基に、表から数量の変化や対応の特徴を捉え、 x の値に対応する y の値を求めることができる | | | 2(1)イ | | | | | | | ○ | | | 53.8 | 57.5 | 59.1 | 13.1 | 10.1 | 8.7 |
| 2(2) | $x=4$ のとき $y=9$ になるように、 x と y の間の関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する | 加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することができる | | | 1(1)エ | | | | | | | ○ | | | 16.2 | 20.5 | 20.6 | 9.0 | 8.3 | 8.2 |
| 3(1) | A車を購入して10年間使用するときの総費用を求める | 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、的確に処理することができる | | | 2(1)イ、エ | | | | | | | ○ | | | 62.2 | 66.9 | 67.4 | 6.4 | 4.2 | 3.4 |
| 3(2) | B車の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、グラフの傾きが表すものを選ぶ | グラフの傾きを事象に即して解釈することができる | | | 2(1)イ、エ | | | | | | | ○ | | | 30.6 | 30.0 | 29.8 | 1.0 | 0.7 | 0.7 |
| 3(3) | A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する | 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる | | | 2(1)イ、エ | | | | | | | ○ | | | 22.6 | 29.3 | 30.3 | 12.5 | 12.1 | 12.1 |
| 4(1) | 2つの辺の長さが等しい事を、三角形の合同を利用して証明する | 筋道を立てて考え、証明することができる | | | 2(2)イ、ウ | | | | | | | ○ | | | 26.4 | 31.3 | 29.4 | 29.4 | 23.1 | 22.3 |
| 4(2) | $DA:DC=1:2$ のときの $\triangle DEC$ がどのような三角形になるかを説明する | 付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる | | | 2(2)ウ | | | | | | | ○ | | | 27.7 | 36.1 | 37.3 | 42.7 | 33.2 | 30.5 |
| 5(1) | 24.5cmの靴を最も多く買うという考えが適切ではない理由を、グラフの特徴を基に説明する | 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる | | | 1(1)イ | | | | | | | ○ | | | 39.7 | 45.8 | 47.6 | 29.7 | 22.9 | 19.3 |
| 5(2) | 25.5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く | 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数学的に表現することができる | | | 1(1)イ | | | | | | | ○ | | | 17.8 | 25.9 | 31.1 | 48.4 | 38.5 | 33.5 |
| 6(1) | 最初に決めた数が5のとき、手順通りに求めた数を書く | 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる | 小4(4) | | | | | | | | | ○ | | | 69.2 | 74.8 | 76.4 | 19.1 | 14.9 | 12.8 |
| 6(2) | 文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てはめる方法を説明する | 与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる | | | 2(1)イ、ウ | | | | | | | ○ | | | 10.7 | 14.9 | 15.4 | 50.8 | 41.5 | 41.5 |
| 6(3) | 当てる方法を案外するとき、新しい数当てゲームの手順について当てはまる言葉を選ぶ | 計算の過程を振り返って考え、数当てゲームの新しい手順を完成することができる | | | 2(1)ウ | | | | | | | ○ | | | 49.0 | 53.0 | 52.9 | 4.3 | 3.5 | 4.5 |

* 評価の観点は、数量や図形に関する技能(小学校)に対応させている。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校生徒質問紙

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（72問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（13問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては10%以上の差があるものを示している。

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きい特徴のある項目

| 設問内容種別 | 泉佐野市の状況 | 泉佐野市 <泉佐野市回答率/全国回答率> (大阪府回答率) |
|------------|---|---|
| 【自分自身について】 | ○自分によいところがある、認められていると思う割合は全国を下回っている。 | ○自分には、よいところがあると思いますか <u><56.8/69.3></u> (64.9) ○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか <69.0/78.0> (74.2) |
| 【家庭生活の様子】 | ○午後11時までに就寝している割合は、全国を下回っている。 ○普段、1日当たり2時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしている割合は、全国を上回っている。 ○ゲームをしたり携帯電話やスマートフォンで、通話やメール、インターネットをしたりする時間は、全国を上回っている。 | ○普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか 午後11時より前<25.7/36.9> (25.7) ○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く） 2時間以上<55.1/48.7> (51.7) ○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか 2時間以上<41.5/34.9> (40.0) ○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く） 2時間以上<39.9/30.1> (37.2) |
| | ○地域の行事やボランティア活動に参加したことがある、社会の出来事に関心がある割合は、全国を下回っている。 | ○今住んでいる地域の行事に参加していますか <35.8/45.2> (35.9) ○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか <57.1/65.8> (61.0) ○地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか 参加したことがある<59.8/70.2> (60.1) |

| | | |
|--------------------|---|--|
| <p>【家庭学習の様子】</p> | <p>○通塾率が高く、学校の授業時間以外に、家や塾などで2時間以上勉強をしている割合は、全国を上回っている。</p> <p>○家で学校の宿題や授業の予習・復習をしている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している割合は、全国を下回っている。</p> <p>○読書を全くしない割合や学校図書館や地域の図書館に、ほとんど、または、全く行かない割合は、全国を上回っている。</p> | <p>○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 2時間以上<42.3/34.2> (37.1)</p> <p>○学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか 通っていない<27.2/38.9> (29.6)</p> <p>○家で、学校の宿題をしていますか <76.5/90.1> (86.6)</p> <p>○家で、学校の授業の予習をしていますか <27.5/34.2> (29.5)</p> <p>○家で、学校の授業の復習をしていますか <38.4/51.0> (40.3)</p> <p>○家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか <60.4/68.2> (61.3)</p> <p>○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） 全くしない<53.1/37.2> (46.9)</p> <p>○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか ほとんどまたは全く行かない<70.1/58.0> (66.2)</p> |
| <p>【学校での学習の様子】</p> | <p>○生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えた、うまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う割合は全国を下回っている。</p> | <p>○1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか <59.9/72.4> (64.1)</p> <p>○1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか <45.6/57.7> (53.2)</p> |

| | | |
|--|---|--|
| | <p>○授業の中で、めあてとまとめを書いていたと思う割合は、全国を下回っている。</p> <p>○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文、自分の考えを書くことは難しいと思う割合は、全国を上回っている。</p> <p>○話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う割合は、全国を下回っている。</p> <p>○授業で分からないことがあれば先生に尋ねる割合は、全国を上回っている。</p> <p>○道徳の時間に考えを深めたり、話し合いをしたと思う割合は、全国を下回っている。</p> | <p>○1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか <u><67.2/76.8></u> (69.0)</p> <p>○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか <u><70.4/62.8></u> (68.7)</p> <p>○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか <u><68.5/62.8></u> (67.3)</p> <p>○生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか <u><53.0/64.8></u> (58.0)</p> <p>○授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか 先生に尋ねる<u><27.4 /19.6></u> (24.9)</p> <p>○1, 2年生のときに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか <u><57.3/74.1></u> (65.0)</p> |
|--|---|--|

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校質問紙

回答項目が3項目以上ある場合における割合については、肯定的・否定的な回答の2つの区分で判断して算出（「よく行った・どちらかといえば行った」を肯定的な回答ととらえた）した上で、肯定的な回答の割合を示した。

| 学習規律について | | | |
|---|-------|------|------|
| 各校において、学習規律の維持を徹底しているが、授業中の私語等、落ち着いた状況で学習に取り組むことに課題がある。学力との関係が深いと考えられるため、今後も落ち着いた状況をめざし、引き続き学習規律の維持を徹底する指導が必要である。 | | | |
| 質問事項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 生徒は、熱意をもって勉強している | 100.0 | 93.6 | 91.4 |
| 生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いている | 60.0 | 92.5 | 94.5 |
| 生徒は、礼儀正しい | 80.0 | 90.4 | 93.5 |
| 前年度までに、学習規律（私語をしない、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底した | 100.0 | 97.5 | 97.9 |

| 家庭学習について | | | |
|---|-------|------|------|
| 課題（宿題）を与え家庭学習を促しており、教職員の共通理解や保護者への働きかけは進んでいる。引き続き積極的な働きかけを行うとともに、課題の内容の精選や学習方法を具体的に示すなど、工夫が必要である。 | | | |
| 質問事項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えた | 100.0 | 95.7 | 92.6 |
| 国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導した | 100.0 | 95.3 | 94.5 |
| 数学の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えた | 100.0 | 95.7 | 94.8 |
| 数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導した | 100.0 | 95.7 | 94.9 |
| 前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った（国語／数学共通） | 80.0 | 90.4 | 87.5 |
| 前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った（国語／数学共通） | 80.0 | 83.5 | 82.1 |
| 前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を出した（国語／数学共通） | 40.0 | 73.2 | 68.8 |
| 前年度までに、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた（国語／数学共通） | 80.0 | 85.6 | 87.8 |
| 予習・復習や宿題をさせる際に、教科書の活用（自宅等で教科書を読む等を含む）を促した（国語／数学共通） | 80.0 | 87.8 | 87.4 |

| 言語活動について | | | |
|--|-------|------|------|
| 各校において、各教科等のねらいを明確にした上で言語活動を適切に位置付け、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行っている。学習の過程において、自分の考えを深めたり、広げたりすることや、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立て等を工夫して、発言や発表を行うことに課題がある。 | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた | 80.0 | 84.6 | 88.9 |
| 前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした | 80.0 | 92.1 | 93.3 |
| 前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした | 80.0 | 71.6 | 83.0 |
| 前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導した | 60.0 | 75.5 | 84.8 |
| 前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をした | 60.0 | 85.7 | 91.3 |
| 前年度までに、道徳の時間において、生徒自らが考え、話し合う指導をした | 60.0 | 85.3 | 88.8 |
| 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ | 100.0 | 84.8 | 88.3 |
| 調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合い等の活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている | 40.0 | 72.7 | 70.5 |
| 調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立て等を工夫して、発言や発表を行うことができている | 20.0 | 63.6 | 59.7 |

| 指導改善について | | | |
|--|-------|------|------|
| 各校は、学力向上に向けた指導改善の取組を進め、基礎的な力を付けるための指導と「めあて・ふりかえり」を取り入れた授業づくりが定着してきている。しかし、資料を使って発表できるように指導することや、自分で調べたことや考えたことをわかりやすく文章に書かせる指導に課題があり、生徒の各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクル確立についても課題がある。さらに、ICTを活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行うことに大きな課題がある。 | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している | 80.0 | 81.1 | 77.8 |
| 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している | 60.0 | 82.9 | 86.3 |
| 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている | 60.0 | 65.0 | 71.3 |
| 前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を生徒に示す活動を計画的に取り入れた | 100.0 | 95.3 | 97.8 |
| 前年度までに、授業の最後に学習したことを生徒が振り返る活動を計画的に取り入れた | 100.0 | 89.8 | 93.0 |

| | | | |
|--|-------|------|------|
| 前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導した | 80.0 | 80.0 | 88.9 |
| 前年度までに、本やインターネット等を使った資料の調べ方が身に付くよう指導した | 60.0 | 70.8 | 82.2 |
| 前年度までに、生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行った | 100.0 | 97.4 | 97.1 |
| 前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた | 100.0 | 86.8 | 85.3 |
| 前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会等において、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱った | 60.0 | 64.4 | 70.7 |
| 前年度までに、国語や数学において、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等の多様な活動に取り組みさせることにより、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行った | 80.0 | 84.4 | 86.9 |
| 前年度までに、国語や数学において、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、生徒の資質・能力がどのように伸びているかを、生徒自身が把握できるような評価を行った | 80.0 | 75.9 | 73.4 |
| 前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行った | 0.0 | 48.8 | 56.7 |
| 調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句等基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った | 100.0 | 98.3 | 98.4 |
| 調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った | 100.0 | 92.9 | 88.7 |
| 調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、計算問題等の反復練習をする授業を行った | 100.0 | 98.1 | 96.7 |
| 調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行った | 80.0 | 66.7 | 69.2 |

| | | | |
|--|-------|------|------|
| 学校運営について | | | |
| 地域との連携、地域の人材の活用について、一定の成果がみられる。今後さらに「開かれた学校」としての取組を進めることが望まれる。 | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる | 100.0 | 96.4 | 96.4 |
| 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている | 100.0 | 92.3 | 86.0 |
| 前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った | 80.0 | 63.8 | 65.1 |
| 前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行った | 20.0 | 25.2 | 20.4 |
| P T Aや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれる | 100.0 | 94.1 | 95.6 |

| | | | |
|--------------------------------------|-------|------|------|
| 学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者等が様々な活動に参加してくれる | 100.0 | 89.1 | 74.1 |
|--------------------------------------|-------|------|------|

| 小中連携について | | | |
|---|------|------|------|
| <p>近隣の小学校と授業研究を行う等合同して研修を行うことや、意見交換を行う等教員同士の交流を行うことについて、全国・府と比較してもその率は低く、小中9年間の学び・学びの接続を意識した取組を進める必要がある。「学力向上プロジェクト」が全校区で実施されており、今後の成果を期待したい。</p> | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 前年度までに、近隣等の小学校と、教育目標を共有する取組を行った | 80.0 | 81.0 | 61.5 |
| 前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行う等、合同して研修を行った | 80.0 | 84.4 | 72.5 |
| 前年度までに、近隣等の小学校と、意見を交換し合う等、教員同士の交流を行った | 80.0 | 88.5 | 85.0 |
| 前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った | 60.0 | 65.6 | 54.9 |
| 平成27年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有した | 40.0 | 63.1 | 53.9 |

| 学習状況調査の結果について | | | |
|--|-------|------|------|
| <p>各校において、昨年度の全国学力・学習状況調査の分析結果を学校全体で指導の改善に活用し、保護者や地域の人たちに公表や説明を行っている。また、学力向上の取組も保護者に働きかけている。</p> | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有した | 100.0 | 98.9 | 97.4 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の分析結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用した | 100.0 | 96.3 | 94.8 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果について、保護者や地域の人たちに公表や説明を行った | 100.0 | 96.6 | 86.9 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果や学校評価の結果等を踏まえた学力向上の取組を保護者等に働きかけた | 100.0 | 89.7 | 83.8 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った | 100.0 | 92.7 | 90.0 |

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校質問紙

回答項目が3項目以上ある場合における割合については、肯定的・否定的な回答の2つの区分で判断して算出（「よく行った・どちらかといえば行った」を肯定的な回答ととらえた）した上で、肯定的な回答の割合を示した。

| 学習規律について | | | |
|---|-------|------|------|
| 各校において、学習規律の維持を徹底しているが、授業中の私語等、落ち着いた状況で学習に取り組むことに課題がある。学力との関係が深いと考えられるため、今後も落ち着いた状況をめざし、引き続き学習規律の維持を徹底する指導が必要である。 | | | |
| 質問事項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 生徒は、熱意をもって勉強している | 100.0 | 93.6 | 91.4 |
| 生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いている | 60.0 | 92.5 | 94.5 |
| 生徒は、礼儀正しい | 80.0 | 90.4 | 93.5 |
| 前年度までに、学習規律（私語をしない、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底した | 100.0 | 97.5 | 97.9 |

| 家庭学習について | | | |
|---|-------|------|------|
| 課題（宿題）を与え家庭学習を促しており、教職員の共通理解や保護者への働きかけは進んでいる。引き続き積極的な働きかけを行うとともに、課題の内容の精選や学習方法を具体的に示すなど、工夫が必要である。 | | | |
| 質問事項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えた | 100.0 | 95.7 | 92.6 |
| 国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導した | 100.0 | 95.3 | 94.5 |
| 数学の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えた | 100.0 | 95.7 | 94.8 |
| 数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導した | 100.0 | 95.7 | 94.9 |
| 前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った（国語／数学共通） | 80.0 | 90.4 | 87.5 |
| 前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った（国語／数学共通） | 80.0 | 83.5 | 82.1 |
| 前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を出した（国語／数学共通） | 40.0 | 73.2 | 68.8 |
| 前年度までに、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた（国語／数学共通） | 80.0 | 85.6 | 87.8 |
| 予習・復習や宿題をさせる際に、教科書の活用（自宅等で教科書を読む等を含む）を促した（国語／数学共通） | 80.0 | 87.8 | 87.4 |

| 言語活動について | | | |
|--|-------|------|------|
| 各校において、各教科等のねらいを明確にした上で言語活動を適切に位置付け、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行っている。学習の過程において、自分の考えを深めたり、広げたりすることや、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立て等を工夫して、発言や発表を行うことに課題がある。 | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた | 80.0 | 84.6 | 88.9 |
| 前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした | 80.0 | 92.1 | 93.3 |
| 前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした | 80.0 | 71.6 | 83.0 |
| 前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導した | 60.0 | 75.5 | 84.8 |
| 前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をした | 60.0 | 85.7 | 91.3 |
| 前年度までに、道徳の時間において、生徒自らが考え、話し合う指導をした | 60.0 | 85.3 | 88.8 |
| 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ | 100.0 | 84.8 | 88.3 |
| 調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合い等の活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている | 40.0 | 72.7 | 70.5 |
| 調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立て等を工夫して、発言や発表を行うことができている | 20.0 | 63.6 | 59.7 |

| 指導改善について | | | |
|--|-------|------|------|
| 各校は、学力向上に向けた指導改善の取組を進め、基礎的な力を付けるための指導と「めあて・ふりかえり」を取り入れた授業づくりが定着してきている。しかし、資料を使って発表できるように指導することや、自分で調べたことや考えたことをわかりやすく文章に書かせる指導に課題があり、生徒の各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクル確立についても課題がある。さらに、ICTを活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行うことに大きな課題がある。 | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している | 80.0 | 81.1 | 77.8 |
| 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している | 60.0 | 82.9 | 86.3 |
| 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている | 60.0 | 65.0 | 71.3 |
| 前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を生徒に示す活動を計画的に取り入れた | 100.0 | 95.3 | 97.8 |
| 前年度までに、授業の最後に学習したことを生徒が振り返る活動を計画的に取り入れた | 100.0 | 89.8 | 93.0 |

| | | | |
|--|-------|------|------|
| 前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導した | 80.0 | 80.0 | 88.9 |
| 前年度までに、本やインターネット等を使った資料の調べ方が身に付くよう指導した | 60.0 | 70.8 | 82.2 |
| 前年度までに、生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行った | 100.0 | 97.4 | 97.1 |
| 前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた | 100.0 | 86.8 | 85.3 |
| 前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会等において、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱った | 60.0 | 64.4 | 70.7 |
| 前年度までに、国語や数学において、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等の多様な活動に取り組みさせることにより、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行った | 80.0 | 84.4 | 86.9 |
| 前年度までに、国語や数学において、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、生徒の資質・能力がどのように伸びているかを、生徒自身が把握できるような評価を行った | 80.0 | 75.9 | 73.4 |
| 前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行った | 0.0 | 48.8 | 56.7 |
| 調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句等基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った | 100.0 | 98.3 | 98.4 |
| 調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った | 100.0 | 92.9 | 88.7 |
| 調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、計算問題等の反復練習をする授業を行った | 100.0 | 98.1 | 96.7 |
| 調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行った | 80.0 | 66.7 | 69.2 |

| | | | |
|--|-------|------|------|
| 学校運営について | | | |
| 地域との連携、地域の人材の活用について、一定の成果がみられる。今後さらに「開かれた学校」としての取組を進めることが望まれる。 | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる | 100.0 | 96.4 | 96.4 |
| 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている | 100.0 | 92.3 | 86.0 |
| 前年度までに、地域の人材を外務講師として招聘した授業を行った | 80.0 | 63.8 | 65.1 |
| 前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行った | 20.0 | 25.2 | 20.4 |
| P T Aや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれる | 100.0 | 94.1 | 95.6 |

| | | | |
|--------------------------------------|-------|------|------|
| 学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者等が様々な活動に参加してくれる | 100.0 | 89.1 | 74.1 |
|--------------------------------------|-------|------|------|

| 小中連携について | | | |
|--|------|------|------|
| 近隣の小学校と授業研究を行う等合同して研修を行うことや、意見交換を行う等教員同士の交流を行うことについて、全国・府と比較してもその率は低く、小中9年間の学び・学びの接続を意識した取組を進める必要がある。「学力向上プロジェクト」が全校区で実施されており、今後の成果を期待したい。 | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 前年度までに、近隣等の小学校と、教育目標を共有する取組を行った | 80.0 | 81.0 | 61.5 |
| 前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行う等、合同して研修を行った | 80.0 | 84.4 | 72.5 |
| 前年度までに、近隣等の小学校と、意見を交換し合う等、教員同士の交流を行った | 80.0 | 88.5 | 85.0 |
| 前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った | 60.0 | 65.6 | 54.9 |
| 平成27年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有した | 40.0 | 63.1 | 53.9 |

| 学習状況調査の結果について | | | |
|---|-------|------|------|
| 各校において、昨年度の全国学力・学習状況調査の分析結果を学校全体で指導の改善に活用し、保護者や地域の人たちに公表や説明を行っている。また、学力向上の取組も保護者に働きかけている。 | | | |
| 質 問 事 項 | 泉佐野市 | 大阪府 | 全国 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有した | 100.0 | 98.9 | 97.4 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の分析結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用した | 100.0 | 96.3 | 94.8 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果について、保護者や地域の人たちに公表や説明を行った | 100.0 | 96.6 | 86.9 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果や学校評価の結果等を踏まえた学力向上の取組を保護者等に働きかけた | 100.0 | 89.7 | 83.8 |
| 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った | 100.0 | 92.7 | 90.0 |